

## 平成25年度（第1回）二宮町文化財保護委員会議 会議録

日 時 平成25年8月29日（木） 13:30～14:30

場 所 ラディアン ボランティアルーム

出席者 （文化財保護委員） 奥村清委員、加藤孝次委員、杉山幾一委員、  
西山明子委員、山口眞弘委員 橘川卓司委員  
（事務局） 内海教育長 田嶋生涯学習班長、小嶋主査  
中山文化財保護事務嘱託員

傍聴者 1名

資 料 （1）平成25年度文化財保護関係事業および予算について  
（2）平成25年度バーチャル郷土館の更新状況について  
（3）文化財保護委員会調査研究事業「にのみやの講」について

### 1、開会

### 2、内海教育長挨拶

### 3、議題

（1）平成25年度文化財保護関係事業報告および予算執行状況について  
事務局より、平成25年度文化財保護関係事業および予算を説明。

（委 員） 予算について、昨年と変わったところはどこですか。

（事務局） 今年度末に『ふるさと再発見6』を出版予定ですので、その予算が盛り込まれていますが、それ以外大きく変わったところはありません。

（委 員） 埋蔵文化財関係の試掘とはどのような場所で行われるのですか。

（事務局） 住宅や宅地の開発など掘削が伴う工事が埋蔵文化財包蔵地と呼ばれる範囲内で行われる場合は、掘削の深さによって試掘を行います。

（委 員） 試掘の件数はどのくらいあるのでしょうか。

（事務局） 今年度8月までの時点で6件です。このままですと昨年より試掘件数は増えると思われると思います。

（委 員） 試掘ではどのようなものが発見されるのですか。

（事務局） 奈良・平安時代の土器片が主ですが、時には住居址などが見つかることもあります。

（委 員） 埋蔵文化財行政の問題点や課題などはありますか。

（委 員） 試掘ではなく調査範囲の広い本格調査の場合、遺物の量もかなり多くなりますから、保管スペースの確保が課題となるでしょうね。また大掛かりな本格調査をする場合

には現地報告会などを開いて町民に周知すると、埋蔵文化財への理解が進むのではないのでしょうか。

(委員) 史料に対する燻煙はいつ行われますか。

(事務局) 9月24日に実施予定です。

(委員) 燻煙に限らず史料の保存というのはなかなか手間がかかるものですから、どこの自治体でも職員だけでは手が足りないというのが実情でしょう。そこでボランティアを育成し、その方たちに手伝ってもらおうというのはどうでしょう。

(教育長) 過去には給食センターの職員に夏休みの間、民具などの整理を頼んだり、緊急雇用として雇った臨時職員に農具や漁具などの移動・整理をお願いしたりして、生涯学習課だけで行うのは難しい部分を補ってきました。

(委員) もちろんそのような方でも良いのですが、民具の保管等に興味のあるボランティアを組織しておくとか対応しやすいのではないですか。

(2) 平成24年度バーチャル郷土館の更新状況について

事務局より内容の更新予定について説明。

(3) 文化財保護委員会調査研究事業「にのみやの講」について

(委員長) いよいよ出版に向けての原稿が出揃いました。それぞれの原稿についてはこれからお互いに内容の精査・検討をしていきたいと思えます。また誤字など編集上の問題は直させていただくことがありますので、ご了承願います。本の前書きは教育長にお願いし、編集後記は委員長の私が書くということでよろしいでしょうか。

(委員) よろしく願います。

(委員長) これまで出版した『ふるさと再発見』では原稿ごとに著者名を記したものと最後にまとめて記したものがあるのですが、今回はどのようにしますか。

(委員) 講の研究を始めた時からオリジナリティーのある原稿を書くことを目指し、皆さんそのような原稿を提出されているのですから、著者名を個別に記すのは当然だと思います。

(委員) 最近は新聞記事でも署名がありますからね。

(委員長) では原稿ごとに著者名を入れることとします。原稿の順番や本の題名などは原稿の検討会で話し合しましょう。

#### 4、閉会